

教えて！ ドクター Q&A

(株)宣通 (052) 979-1600 広告

Q 半年前に糖尿病と診断されてから初めて風邪を引いたのですが市販の風邪薬は飲んでもよいのでしょうか？注意点、避けた方がよい風邪薬などありましたら教えてください。



A

市販の風邪薬には様々な成分が含まれています。鼻粘膜の充血や腫脹を抑え、鼻づまりを楽にする成分として配合されている交感神経刺激薬(塩酸プロソイドエフェドリン、塩酸メチルエフェドリン、塩酸フェニレフリンなど)は肝臓でのグリコーゲンの分解を促し血糖値を上昇させます。漢方薬の麻黄は交感神経刺激薬と同じ成分を持つエフェドリンを主成分とするため血糖コントロールを困難にさせます。逆にアスピリンやエテンザミドは膵臓のβ細胞からのインスリン分泌を促進する効

きがあり、血糖値を低くします。鼻炎に効くベラドンナ総アルカロイドが入っている製品も要注意です。アセトアミノフェンは血糖値への影響が少なく比較的安全に使用できます。風邪をひくとストレスホルモンが分泌され異常事態に対処しようとなります。このホルモンは血糖値を上げる作用があります。さらにインスリンの分泌や働きが悪くなるので高血糖になります。逆に食事量が減つたり体力を消耗したりするので、低血糖にならないように糖尿病薬の調節が必要な場合もあります。糖尿病の程度そして風邪の程度が軽度であれば、市販の風邪薬は問題ないと思います。しかし、中等度以上であれば糖尿病のコントロールに支障をきたしますので、かかりつけ医に相談して下さい。



院長 早瀬 修平
(はやせ希望クリニック)

名古屋大学大学院医学研究科修了。医学博士。米国ニューヨーク市Francis Delafield Hospital、Harlem Hospital Center外科レジデント。ミネソタ州Mayo Clinic胸部心臓血管外科留学。金沢医科大学心臓血管外科講師、名古屋大学胸部外科助手、名古屋第一赤十字病院胸部外科部長。1997年4月より現職。